



## 絆からみえるアジア

琉球・インド・インドネシア・タイ・ラオス・カンボジア・フィリピン

咲き乱れる花々、雲間を飛び交う鳥、牛を引く農夫、そして象や犬たち。いずれも、絨織の文様です。「絆」は、文様の輪郭が掠れて見えることや、白い斑文様になることから「飛白」などの字を当てた先染めの織物です。経糸や緯糸を染め分け、織り合わせることで幾何学的なあるいは写実的な絵文様として表れます。絆の足と呼ばれる織糸のずれる表現が手仕事のぬくもりが伝わる染織として人々に愛しまれてきました。沖縄では絆を、「イーチリー(結切)」「トゥッチリー(取切)」と呼びます。絆糸を作るのに、括って防染することによって由来する方言です。また、広く絆を「イカッ」とも呼びますが、この言葉もマレー語の「括る」という意味です。

絆はインドや中央アジアから発生し、インドネシアや大陸部の東南アジアのミャンマーやタイ、ラオス、カンボジアの国々をはじめ、日本やかつての琉球王国まで広がりました。本展では、国宝の尚家継承衣裳や那覇士族の福地家や宮城家、崎間家などの「沖縄の絆衣裳」と、南風原文化センター所蔵の「アジアの絆」布をあわせて展示します。絆を通してアジアの造形美をお楽しみ下さい。

■「アジアの絆講座」  
3月7日(土) 崎間麗進、14日(土) 柳悦州、21日(土) 祝嶺恭子、22日(日) 平良次子、28日(土) 宮里正子  
\*午後2時  
\*定員各30名\*入館料が必要  
【お問い合わせ】  
那覇市歴史博物館  
☎869-5266



## 今こそ、物の価値を見直そう ～くらしを見直す那覇市民バザール～

各家庭に眠っている不用品を互いに持ち寄り、ごみの減量や資源の有効活用につなげようと、「くらしを見直す那覇市民バザール」が2月1日(日)、市民会館中ホールで開催されました。

会場には、婦人連合会の会員や一般市民から出品された食器類や衣類、バッグ、書籍などが並べられ、朝早くから会場を訪れたみなさんが、一つ一つ商品を手に取り、じっくりと品定めをしながら、掘り出し物を探していました。

2月8日(日)、那覇ぶんかテンプス館で「那覇市地球温暖化対策協議会設立記念講演会」が行われ、多くの方が会場に訪れました。

当協議会は、市民や事業者、行政が協働し、地球温暖化の原因である温室効果ガスを削減することを目的にしています。講演会では、お天気キャスターの森田正光さんによる地球温暖化が引き起こす異常気象の解説と、市内でエコ活動に取り組んでいる団体の実践活動が報告されました。



## はじめてですか?エコロジーライフ ～那覇市地球温暖化対策協議会設立記念講演会～



## 那覇の魅力ある物産が勢揃い! ～「第31回那覇の物産展」那覇市長賞表彰式～

2月17日(火)から22日(日)までの6日間、沖縄三越で開催された「第31回那覇の物産展」を前に、優れた出展商品に贈られる「那覇市長賞」の授与式が、2月12日(木)市長応接室で行われました。

受賞された商品は、いずれも沖縄の伝統文化や、風土に根ざしながら現代風にアレンジされた魅力ある商品でした。「市長賞」は、毎年優れた新商品が選ばれ、地場産業の発展に寄与しています。(6面参照…受賞した商品の紹介)

マラソンを通して健康な体と心を養うために、2月11日(日)、奥武山陸上競技場で「第15回那覇市スポーツ少年団ジャスコマラソン大会」が開催されました。

今大会は野球やサッカー、バスケットボールなど各競技の団員が集結し、過去最高の2,982人が参加しました。大会に参加した小学校1年生から6年生の児童たちは、800mから1,200mの距離を、家族や友人の声援を受けながら、力いっぱい走りぬけました。



## トラックを疾走する児童たち! ～第15回那覇市スポーツ少年団ジャスコマラソン大会～



2009年  
6月4日開港  
那覇 ↔ 静岡

ANA ●那覇発 15:00 → 静岡着 17:00 ●静岡発 12:00 → 那覇着 14:30



富士山静岡空港  
Mt. Fuji Shizuoka Airport

静岡県の旬なオモシロ情報を貴方に毎週お届けします!

おとぼけツアーズ 奮戦記  
静岡へようこそ!

HBCラジオ・毎週金曜日・17:00～17:10

静岡県広報局 静岡市葵区追手町9番6号 TEL.054-221-2379

